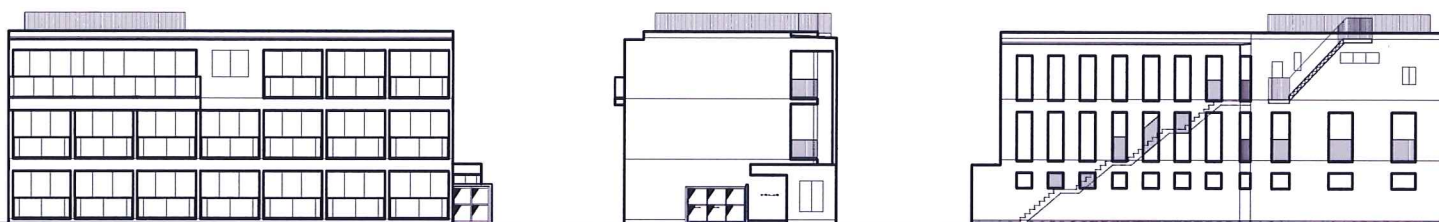




住宅街の細い路地をぬけると突如姿をあらわす幾何学の白いフレーム。単身者向けのアパートメントである。内部の公共通路を囲うコンクリートの無機質な壁柱は執拗に反復し、外部に開放されつつも静けさを保っており、さながら中世の修道院の回廊のようだ。一住戸のモジュール寸法が意匠的かつ構造的な意味において南側バルコニーと北側公共通路ともに影響を与え、この建物の秩序だったファサードイメージを決定付ける。この独特な形をしたマッスは日が沈むと様相を変え陰と陽とを反転させる。白いフレームは姿を消し、内部から発する柔らかな光のグラデーションだけが行燈のように街の中に浮かび上がる。帰路につく人々を優しくむかえる。 ■基本データ ●建設地：埼玉県志木市 ●用途：集合住宅 ●敷地面積：356.11㎡ ●建物床面積：537.25㎡ ●階数：3階 ●構造：壁式鉄筋コンクリート造 ●住戸数：18戸（オーナー住戸含む） ●●●●●●



T. APARTMENT